

滋賀県道路整備アクションプログラム  
地域別アクションプログラム（高島地域）第4回地域ワーキング

議 事 概 要

日 時：令和4年12月14日（水） 10時00分～11時45分

場 所：高島合同庁舎2階 2-A会議室

出席者：饗庭 正昭 委員（公募委員）

今村 忠彦 委員（座長）（NPO法人SMSA持続可能管理協会びわこ 理事長）

小崎 富美子委員（高島交通安全協会 副会長）

福田 久司 委員（高島市商工会 会長）

前川 為夫 委員（びわ湖高島観光協会 会長）

松本 美和子委員（介護保険認定審査委員 介護保険事業計画等策定委員会委員）

柳生 徹 委員（高島市 都市整備部部長）

欠席者：藤田 幸典 委員（高島警察署 交通課長）

（五十音順）

1. 開会挨拶

2. 地域ワーキング

（1）座長挨拶

- ・今村座長が挨拶を行った。

（2）第3回地域ワーキングの内容の確認

- ・事務局より第3回地域ワーキングの内容について説明を行った。

（3）資料説明「第4回地域ワーキング」

- ・事務局より第4回地域ワーキングについて説明を行った。

（4）意見等 自由討議

○各委員からの主な意見等については以下のとおりである。

### 【「地域の声」「地域の重点項目」とりまとめ結果について】

- ・地域の声で大規模災害を考慮した代替路線などについても触れている。他の計画で進めている事業かもしれないが、もっと大きな事業も含んでいただけたらと思う。5年10年での実現性を考えると難しいかもしれないが、実情に合った計画になるのではないかと思う。
- ・安全・安心の魅力的な歩行空間の確保として地域の声に挙げていただいているが、道路整備が進まないところもあると思うので、部署は違うかもしれないが、啓発などソフト面も進めていただきたい。
- ・安全・安心な道路空間に向けて、国道161号では危険な場所もいくつかあるので、他府県とも連携して整備をしてもらいたい。

### 【客観的評価マニュアルによる事業の評価について】

- ・挙がっている事業については、重点的に取り組んで、広く広報を進めていただければと思う。
- ・事業は時間がかかるものだと思うが、一つでも早く進めてもらいたい。限られた予算の中で何が大事かというのは難しいが、国から多くの予算を取っていただいて、快適な道路を整備していただきたい。
- ・28ページにあるような継続的に検討が必要な路線の項目を新たに設けたのは良い取り組みだと思うので、ぜひ掲載してもらいたい。また、既存路線のみの計画になっているので、長期的な視点で次のアクションプログラムでは新たな路線も検討していただきたい。

### 【その他】

- ・地域ワーキングに参加するまで、このような形で住民の声を拾っていることも知らなかった。どのように情報発信しているのか教えていただきたい。
- ・情報発信については弱いところで、逐次更新ができていない。また、HPの情報量が多く、必要な事項をすぐに見つけることも難しい状況である。情報発信は非常に重要なことなので、今後検討して改善していきたいと思う。(事務局回答)
- ・計画を作るだけでなく、その後のPR方法について、時代に合わせてSNSを活用するなど、積極的に情報発信をしていくことが必要だと思う。
- ・道路は住民の生活に密着しているので、より多くの人に意見を聞くためにも、ワーキングニュースをチラシとして発行するなど、広く知っていただければと思う。また、道路整備では、中心部は整備が進んでいるが、山間部は遅れている。高島市は2/3が山間部になる。外部から高島市に来るのには山間部の道路が重要である。計画全体は素晴らしくまとめていただいているので、これをベースとして次なる道路につなげてもらいたい。
- ・住民の方にもっと関心を持っていただけるように、こういう機会をもっと多く持って、小さな声をとりあげていくことが必要だと思う。多くの人の意見が聞ける機会があれば良いと思う。
- ・高島地域の道路ネットワークには市道も含まれる。それも含んだネットワークをどう考えるのかも計画をどこかで示していただきたい。また、高島管内だけでなく、大津管内などの広域での道路整備についても連携して取り組んでいただきたい。

- ・交通安全協会などの関連団体が意見交換できると、外部からの情報も入るし、様々な意見が出ることで先手を打つことができる。
- ・用地買収が進まなくて整備が止まっているという話をよく聞くが、行政執行をするのか、用地買収が進まない場合、最終的にどのようになるのか教えてもらいたい。
- ・用地については、地権者が亡くなっている場合、相続先全員の合意をいただかなければいけない。相続人が県外や海外にいる場合もあり、時間がかかることもある。役所としては粘り強く交渉して、説明をしてご理解をいただくという方法を取っている。(事務局回答)
- ・策定すれば、5年後に向かってのスタートとなるので、またたくさん意見が聞けるようにできればと思う。
- ・メタセコイア並木は毎年渋滞している。観光地として、観光客に細い道を通らせるのは中途半端だと思う。せっかく良い観光スポットができていますので、将来的には、バイパス整備の検討をお願いしたい。
- ・道路ネットワークは、県だけでなく、国や市も含めたネットワークを十分に活かし、連携して進めていただきたい。
- ・道路が拡幅されて右折車線が整備されると逆走する人が出てくるなど、ルールが分からない人も多い。せっかく整備されても事故が増えるのでは悲しいので、高齢者でもわかりやすく矢印を引くとか、夜でも分かる標示をするなど、事故防止につながる道路にしていきたい。
- ・今回の会議メンバーにはいなかったが、トラック協会などの運送業界の方も意見があると思う。全員の意見を取り込むのは大変だと思うが、部会を開催するなど、何か意見をいただく工夫を検討してもらいたい。